

数学 岐阜大学 教育学部（イ）、地域科学部、応用生物科学部（応用生命科学課程、生産環境科学課程）、医学部（看護学科）、社会システム経営学環（前期） 1 / 1

<全体分析>

| | | | |
|------|------|-------|----|
| 試験時間 | 120分 | 解答問題数 | 5題 |
|------|------|-------|----|

解答形式

全問論述式

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化）

出題の特徴

5題必須.

大問1題が4～5問の小問から構成されている.

入試改革を踏まえた出題

⑤ [I] 微分法を [II] 図形と式、積分法に利用する着眼点が問われた.

その他トピックス

密にならない座席の選び方が出題された.

各大問の配点比率 (%) の明記がなくなった.

<大問分析>

| 問題番号 | 出題分野・テーマ | 範囲 | コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど） | 難易度 |
|------|-------------------|------|-------------------------------|-----|
| ① | ベクトル | 数学B | 空間ベクトル, 体積比, 垂直 | 標準 |
| ② | 場合の数 | 数学A | 前後左右が隣接しない座席の選び方 | やや難 |
| ③ | 数列 | 数学B | 漸化式, 数学的帰納法, 数列の和 | 標準 |
| ④ | 指数関数 | 数学II | 不等式の証明, 指数方程式 | やや易 |
| ⑤ | 微分法, 図形と式, 積分法 | 数学II | 4次関数の増減と極値 円と放物線が接する条件, 面積 | 標準 |

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

ここ数年の出題傾向を見ると、微分法・積分法、場合の数・確率、ベクトル、数列、三角関数がよく出題されている。

標準レベルの良問が出題されるので、頻出問題を繰り返し解くとよい。問題文をよく分析し、粘り強く解法を組み立てていく力と、文字を含む計算を正確に行う力が必要である。また、場合の数・確率については、正確に数え上げる力も必要とされることがある。解法を暗記するだけの学習ではなく、解法の道筋をきちんと捉え、応用力を養うように心がけて学習してほしい。